

第7回 全員協議会会議録

令和5年12月5日(火)
委員会議室

○会議日程

- 1 開会宣告(14時10分)
- 2 協議事項
(1) 第7回議会運営委員会の結果報告について
- 3 その他
(1) 北留萌消防組合議会定例会について
(2) 原子力機構報告会について
(3) 令和5年度一般会計議会関係補正予算について
- 4 閉会宣告(14時36分)

○出席議員(8名)

議長	8番	西澤裕之
副議長	7番	齋賀弘孝
議員	1番	高橋秀明
議員	2番	佐藤忠志
議員	3番	深澤博幸
議員	4番	高橋秀之
議員	5番	植村敦
議員	6番	無量谷隆

○議会事務局出席者

事務局長	岡田英樹
事務局次長	藤田秀紀
主 任	横山 薫

(1 4 時 1 0 分 開 会)

西澤議長

ただいまより第7回全員協議会を開会いたします。

協議事項、第7回議会運営委員会の結果報告について、議会運営委員長の無量谷隆委員長より報告願います。

無量谷議員

第7回議会運営委員会で協議しました令和5年第9回幌延町議会定例会の会期日程について、この結果報告いたします。

1 議会日程ですが、召集時期は、12月18日午前10時です。

会期については、12月18日から20日までの3日間とし、会議日は、18日の1日とし、19、20日は、予備日とします。議事日程につきましては、別紙のとおりであります。

2 審議方法ですが、一般議案、補正予算とも、提案理由の説明、質疑を行い、討論を省略し、簡易表決とします。議案第1号と第2号は関連がありますので一括議案とします。また、議案第3号から第5号についても関連がありますので、一括議案とします。

次に、議長提出の議案についてですが、選挙管理委員会委員長及び同補充員の任期満了に伴う選挙です。選挙の方法は、指名推選により行いたいと思います。選出方法は、議長の指名により指名選考委員会を開催し選出します。指名選考委員会のメンバーは、議長、副議長、両常任委員長、議会運営委員長の5名です。

次に3一般質問の通告期限につきましては、12月11日月曜日14時までとします。期限厳守をお願いいたします。

4 意見書提出の要件等の取扱いですが、内容は別紙のとおりであります。議会運営委員会の協議の結果、採択1件です。採択される意見書に関して、提出者が佐藤議員、賛成者が齋賀議員となりますのでよろしく願います。

5 その他であります。議案発送日は、本日となっております。お帰りの際はお持ちになっていただきたいと思っております。

そのほか、会議中の発言ですが、最近指名を受けないで発言する場面が見られます。会議規則にも、発言者は挙手して、議長または委員長と呼び、指名を受けてから発言することとなっております。このようなことから、会議記録を適切に制作するためにも、発言をする際には、挙手の上、指名を受けてから、マイクのスイッチを押して、発言するようにしてください。または、発言中に、私語で審議に集中できなくなります。会議記録作成にも影響してきますので、会議中の私語は慎むようにしてください。以上、委員長報告といたします。

西澤議長

ありがとうございます。

今の委員長報告に付け加えて言いますと、先程の委員会でも、故意とか悪気があるわけではないと思うんですけども、答弁者の発言中に、ふと疑問に思ったことを隣の議員としゃべってしまうと、それがどうしても私語になって、発言者が萎縮してしまったり、何か間違ったことを言ってしまうんじゃないかなということもあるので、発言者が発言してる最中は、私語を慎んでいただきたいというふうなことでありますので、特に、他意もなにもありません。

ん。ただ、議会のルールに則って、私語はやめてくださいという話です。

では、今の議運委員長長の報告について何か質疑あればお願いいたします。

(「ありません」の声あり)

なければ、協議事項の(1)を閉じたいと思います。

その他のほうに移ります。

北留萌消防組合議会定例会についての報告を、無量谷議員よりお願いいたします。

無量谷議員

11月22日羽幌で議会を開催しました。

幌延の部分では、今年度、消防小型ポンプ車を導入しています。

また、来年度の計画として、小型消防車の計画をしておりますので、報告いたします。

以上です。

西澤議長

はい、ありがとうございます。今の報告について質問等ございますか。

(「ありません」の声あり)

続きまして、原子力機構報告会についてですが、お手元の資料に添付してありますが、11月14日に、まずは原子力機構の東京事務所に表敬訪問をしております。私からは、日頃、地域の経済に貢献していただいておりますということで感謝の意を表明いたしまして、後、研究に終わりはないということと、町、議会、町民も含めて、この原子力の研究については、できることは、応援しますという話をさせていただきました。

11月15日に、原子力機構の報告会で、理事長がまず、基調講演をし、そのあと研究者のお話を聞いてまいりました。また、幌延町からは、物産店を出して、ほかの町との交流も含めて、ああいうところに職員が来て、町をアピールするのは、いいことだなというふうには思っておりました。

これに行かれた方で何か、御発言ある方はお願いをいたします。

無量谷議員

今回参加させていただき、原子力に関連する施設を持っている町村の観光PRっていうような形でブースを設けられていたことも、こういう町にもあるんだっていう感じで見てまいりました。

そういう中で、水素のガス高圧炉の発表という形で、何とか、僕なりに、分かったかなという感じをしてきました。そういう中で、やはり、今後も幌延の深地層の絡みもありますんで、継続してほしいなと思います。

西澤議長

はい、ほかに行かれた方で。

深澤議員

大変、有意義な東京出張でした。

私も何十年かぶりに東京に向かって、大変歩き疲れたという部分もあるんですけど、その中でも、新たな技術として、この報告会で説明あった中で、廃棄物の中から、ゆうしつな金属を取り出す技術が、2、3年後に、取り出せるのではないかという研究してるということ

が、やはり、科学というのは日進月歩で進んでるなという感じがして、やはり佐藤くんじゃないけど、行ってみなかったら分からないということがあるんで、来年は是非、佐藤くんにも参加していただきたいなと思います。

植村議員

私も参加させていただきました。

年取って来ると、あの日程は、非常にタイトな厳しい日程で大変だったなというふうな感想を持ちました。それでも、今、深澤議員が言われたとおり、中身的には、本当に意義のある報告会だったなというふうに思います。

報告会に関しては、私が行っていた報告会の報告事業と内容が変わってきてるなと感じています。本当に、前向きに将来を見据えた原子力に限らず、水素も含めて、いろんなエネルギーというものは、こうやって活用していくんだよというような方向みたいなものを発表していただいたというふうな気がしております。

以前は、原子力に特化した特殊技術というものを発表したような、なかなか聞いても、一回では理解できないような非常に難しい内容だったんですけども、今回、内容的には難しいんですけども、科学者の意欲というような、原子力機構さんの研究意欲が前向きに出た報告会だったなというふうに思っております。

本当に厳しかったんですけども、良い体験させてもらいました。どうもありがとうございました。

佐藤議員

私は、全く逆な意見で、当初から、ここまで行って聞く必要があるのかと。

町民の議会議員に対する捉え方、東京まで行って、何を聞いてくるんだと。我々のレベルで聞いてきても勉強にならないなんてことはないんですけど、議員として、ちゃんとした形で説明もしていかなきゃならんだろうし、それなりの、ある程度のお金が掛かるわけだから、何でも行けばいいというものではない。

今まで、議長も副議長も行って、十分対応してきいるのだったら、幌延町でも、こういう人3人も呼ばなくていいから、年に1回か何年に1回ぐらい呼んで、講演してもらえばいいことだろうし、表敬訪問は別として、議長、副議長がそろって、年に1回ぐらいで済むのかなと思ったりしていたもんだから、ちょっと皆さんと当初から違う意見を出してるものですから。

ただ、任期中1回なのか2回なのかということもあるだろうし、そこらもこれから協議して、決して私も行かないというわけじゃないけど、ただ、行ってみたほうがいいけど、何を勉強してきたんだと言われたときに、そこら辺がちょっと困るなど、お前の頭の程度で分かってきたのかとなる部分もあるなと思って、当初から見させてもらってたんですが、そこら辺ちょっと懸念するところもあるもんですから、何でも行けばいいってもんでもないし、議長、副議長もおるわけだから、今までどおりで、ダメだったのか、なぜ今回から皆さんが行かなきゃならなくなったのか、そこら辺も、十分皆さんと考え方を共有して臨んでいかないと行ってきただけでは、いろんな厳しい予算の中で、議会もやってるわけだから、そこら辺も考えていかなきゃいけないと思っております。

西澤議長

はい、ほかございますか。

(「ありません」の声あり)

それでは、次にいきたいと思えます。

令和5年度12月補正について、事務局より説明をお願いします。

岡田事務局長

12月補正で、議会費の補正があるんですけれども、議会費全体でいきますと、人勸の関係で職員の給料と職員の手当は増えるんですけれども、議員皆さんの手当なんですけれども、当初は100分の100ということで計算してたんですけれども、今回、改選により、1名3か月未満の在任期間の議員さんがいらっしゃいまして、6月手当が100分の30で支出になるんですけれども、当初予算で100分の100で算出していましたので、その分の30万8千円が減額となります。

また、12月定例でも議題にあがりますけれども、今年の人勸で、期末手当の支給率が年0.1か月増えるということで、増える分で16万2千円が、人勸分で増えるんですけれども、減額する30万8千円と増額する16万2千円を差引きますと、議会運営費の職員手当議員手当につきましては14万6千円の減額となります。

先ほど言った職員の手当と給料については、人勸で増えますので議会費の1款としては、増額となる補正となっております。

西澤議長

はい、ありがとうございます。

質疑等ございますでしょうか。

(「ありません」の声あり)

なければ、これで第7回全員協議会を閉会といたします。

本日はお疲れさまでした。

(14時36分 閉 会)

以上、相違ないことを証するため署名する。

議 長 西 澤 裕 之

事務局次長 藤 田 秀 紀